

家族と離れて  
自分を見つめなおそう。

# 通学合宿



いつもにぎやかな食事の時間

自主性を育て  
たくましい子どもに

一週間の集団宿泊体験を通して子どもたちに生きる力を身に付けさせようと、6月18日から24日まで、日野町通学合宿（町子ども居場所づくり実行委員会主催）が至誠寮下菅）で行われました。

参加したのは、町内の4年生から6年生の希望者28人。子どもたちは一週間、家族から離れて至誠寮で生活しました。食事は町食生活改善推進協議会の皆さんが作ってくれますが、掃除、洗濯や身の回りのことはすべて自分たちでしなければなりません。

また、夕食後には「オセの話を聞く時間があり、普段



ジゲのオセの話を真剣に聞く

は聞けない先生の子どもの頃の話や、まちの歴史の話などを聞きました。

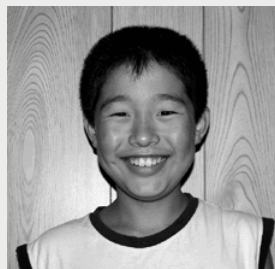
3日目の夜には、離れて暮らしている家族に宛てて全員が手紙を書き、楽しいことや辛いことなど、今の気持ちを伝えました。その3日後には家族からの返事が届き、そのあたたかい言葉に、子どもたちは何度も読み返し、家に帰りたくなる子どももいたようです。

また、ホタル狩りや牛舎体験などを通して、まちの自然や命の大切さにも触れました。そして最終日の退所式では、田淵久之教育長から一人一人に終了証が手渡され、子どもたちは一回り大きくなって帰っていききました。



みんなそろって登校

これからは早起きしたい  
松本俊幸さん（根雨小6年）

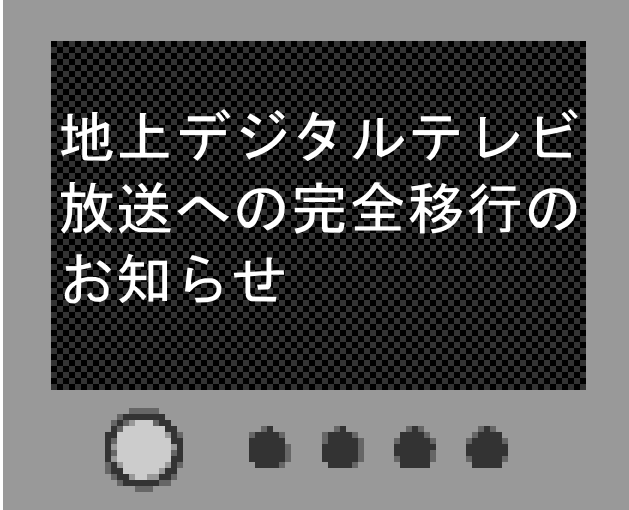


初めて参加しましたが、面白かったです。1週間では足りないので学校で眠く6時起床なので学校で眠くなったりしたけど、寮に帰ってからは勉強に集中できました。この体験を生かして、これからは親に言われなくても洗濯や早起きをしたいです。



昔ながらの道具でホタル狩り

# 2011年7月24日までに 現在のアナログテレビ放送は終了します。



## 地上デジタルテレビ 放送への完全移行の お知らせ

日本の電波は、足りなくなっています。デジタル化すれば電波の有効利用が進み、テレビがもっと楽しく、暮らしがもっと便利になります。

一部の都府県では放送が始まっています

地上デジタルテレビ放送は、2003年12月1日から関東中京及び近畿の一部で始められ、2006年末までには、全ての都道府県庁所在地で始められることになっています。現在の地上アナログテレビ放送は、地上デジタル放送への移行に合わせ、2011年7月24日までに終了します。

鳥取県では2006年10月1日に地上デジタル放送が始まります

県内の地上デジタルテレビ放送は、2006年10月1日に鳥取局から放送が開始され、順次放送エリアが拡大されていきます。

日野町内での中継局整備（中日野局）は2008年を予定しています。

地上デジタルテレビ放送を見るためには、次のような方法があります

地上デジタル放送対応のテレビに買い換える

地上デジタルチューナーを買い足し、現在お使いのテレビに接続する

地上デジタル放送対応済みのケーブルテレビで見る（日野町では未整備）

地上デジタル放送Q&A

Q. アナログテレビとデジタルテレビはどう違うの？

A. 映像や音声を0と1のデジタル信号に置き換えて送信することがデジタル方式です。

従来のアナログ方式と比べてより高品質な（テレビ画面が二重映しになる「ゴースト」や雑音のない）映像と音声を受信することができます。また、デジタル化により、高画質・高品質なハイビジョン放送、いつでも必要な情報が得られるデータ放送、双方向サービスなど、高度な放送サービスが実現できます。

Q. なぜ地上デジタルテレビ放送に移行するの？

A. デジタル化による放送サービスの向上のほか、アナログ放送に比べて電波の有効

利用を図ることができます。

完全移行後は、従来アナログテレビ放送で必要とした周波数の一部を携帯電話や新たな無線サービスなどに利用できることになり、関連産業への大きな波及効果も期待されています。

地上デジタル放送専用のチューナーについては、今後約2万円のものが発売される予定です。

現在のテレビの受信方法により、アンテナ工事などの費用が別にかかります。くわしくは地上デジタルテレビジョン放送受信相談センターにお問合せください。

問合せ先

受信相談 総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター（電話0570 070101）

視聴エリアについて（社）地上デジタル放送推進協会

ホームページアドレス

<http://www.d-pa.org>